

の ぎ たいしょうしょうぞう
20. 乃木大将肖像

■ 指定日

昭和57年3月1日

■ 種別

有形文化財 絵画

■ 年代

■ 所在地

朝来市多々良木 あさご芸術の森美術館

■ 所有者

朝来市



■ 内容

生野三巨匠の一人として知られる郷土出身の画家・白瀧幾之助の作品。

・白瀧幾之助(しらたきいくのすけ) 1873(明治6年)～1960(昭和35年)

生野町奥銀谷出身。黒田清輝一門に学び、後に東京美術学校(現 東京芸大)に編入、文展画壇で活躍し、帝展審査員も勤めた。芸術院恩賜賞、勲四等瑞宝賞を受賞。

黒田清輝から学んだ明るい外光派の色彩に加え、秀でた描写力で風景や静物を好んで描き、深い観察力と奇をてらうことのない素直なタッチにより、風格のある画風を築きあげた。